

阪南中央病院小児科病棟へ入院される 皮膚科患者様へ(乳児)

阪南中央病院皮膚科ではアトピー性皮膚炎に対してできるだけステロイドを使用しない治療を行なっています。低蛋白血症・低アルブミン血症に対しては食事療法で改善を目指しますが、医師の指示で輸液・アルブミン剤の投与を行うことがあります。

食事療法は母乳をミルクに切り替え、食事が可能であれば離乳食を開始します。入院時には必ずミルク及び食事用食器（スプーンなど）をご持参下さい。

楽しく食事ができるよう、お子様に合った食事方法を一緒に考えていきましょう。

その他、育児で悩んでいることがあればご相談下さい。

一般小児病棟への入院となりますことをご了承ください。

入院に必要な持ち物

▷オムツ

▷粉ミルク・哺乳瓶・哺乳瓶洗浄ブラシ・マグマグ・コップ・スプーン

▷衣類

硬い布、ピッタリくっつく服地は避けて下さい。

▷タオル類

▷石鹸・シャンプー

▷ティッシュペーパー

▷ゴミ袋（ナイロン袋）

▷テープ式掃除用具（コロコロ）

コロコロの替え芯（数本）

▷洗濯用具

洗剤・ハンガー・洗濯バサミ

▷おもちゃ

お気に入りのものがあればご持参下さい。

【※】付き添いの方の衣類や、洗面用具もご持参下さい。

付き添いのご家族への食事提供はありません。

院内の売店、近隣のコンビニやスーパーをご利用ください。